

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 令和 4 年 2 月 22 日

事業所名 放課後等デイサービス 明日の輪

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	訓練室に入れない児童の為に静養室や相談室を活動スペースとして活用している。時として人数が多い時に部屋の中を区切って対応している。	現状の人数では、精いっぱいに対応をしています。今後においては、少しづつ区切らずに過ごせる対応を考えていかないといけないと考えています。
	2	職員の配置数は適切である	5	0	会議が重なった時にもう少し職員が欲しいと思うことがある。	職員配置については現状問題ないのですが、会議等が重なった時を考え、職員募集は継続していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0		
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	活動内容によっては、一人でする時がある。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を きめ細やかに設定して支援している	5	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団 活動を適宜組み合わせて放課後等デイ サービス計画を作成している	5	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを し、その日行われる支援の内容や役割分 担について確認している	5	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行 い、気付いた点等を共有している	5	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとるこ とを徹底し、支援の検証・改善につなげ ている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判 断している	5	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組 み合わせて支援を行っている	5	0		
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	5	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認 等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブ ル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる 場合は、子どもの主治医等と連絡体制を 整えている	4	1	看護師常駐ではない ため、医療的ケアが 必要な児童の受入れ は出来ない。	看護師配置の体制は出来ていない。今後も予定が ない状況。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等と の間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	児童によって情報共 有の仕方に差があ る。	児童によって詳しい情報共有が出来ていない時が ある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事 業所から障害福祉サービス事業所等へ移 行する場合、それまでの支援内容等の情 報を提供する等している	5	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けている	5	0	児童の個別案件に よって助言を仰いで いる。研修について は、コロナ禍で開催 出来ない。	研修等は出来ていない。コロナが落ち着いたら開 催を予定していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	4	コロナ禍のために交流は控えている。	コロナが落ち着いたら検討をしていく。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	3	2	コロナ禍のために参加は控えている。	コロナが落ち着いたら検討をしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	送迎時や電話で相談に応じたり、必要時は訪問したり、来所して頂き相談に応じている。	今後も保護者様との情報共有を大切にしていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	コロナ禍なので、開催出来ていない。	コロナが落ち着いたら開催出来る様に検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	会報やFacebookを使つての情報発信を頻繁にしていく。	現状の頻度を増やしていけるように実施する。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	コロナ禍のために参加は控えている。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	虐待防止研修は毎月実施している。	毎月違う角度から虐待についての研修を行い、職員の知識向上の為に今後も実施していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	医師の指示書が必要なほどの食物アレルギーの児童はいない。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		